

清瀬市立中学校 特別支援教室（サポートルーム） 保護者説明会資料

令和6年10月11日（金）

「サポートルーム」教員

岡本 敬志 清水 聡子
井手口 翔平 伊藤 弦哉
吉田 菜那子 加賀美 杏香

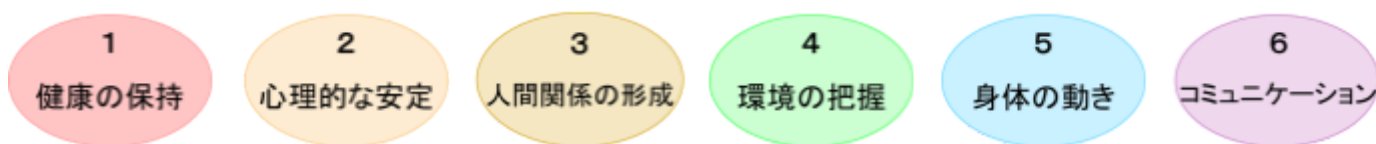
「サポートルーム」の紹介

○サポートルームとは？

通常の学級での学習におおむね参加でき、一部特別な指導を必要とする生徒を対象に、「自立活動」の指導を行う場所です。その生徒の状態に応じた特別な指導を行い、学習上または生活上の課題を克服することで、学校生活が円滑に送れるようになることを目標としています。

○指導内容

※「自立活動」・・・サポートルームで行う6区分27項目の指導領域



(例) 1. 健康の保持 ①生活のリズムや生活習慣の形成 ②病気の状態の理解と生活の管理
3. 人間関係の形成 ①他者とのかかわりの基礎 ②他者の意図や感情の理解 ……など

○巡回指導について

・小学校（きらり）の拠点型と違い、中学校（サポートルーム）では『巡回型』です。



○令和6年度巡回指導について

令和六年度 巡回日	月	火	水	木	金
清瀬中学校				巡回日	
清瀬第二中学校	巡回日				
清瀬第三中学校			巡回日		
清瀬第四中学校	巡回日				
清瀬第五中学校			巡回日		

※指導する教員は各学校の巡回日のみ、勤務しています。

⇒巡回日以外の日も、各校の『**特別支援教室専門員**』を通じて、連携をとっています。

○時間割について

・抜ける教科は、担任や各教科の先生・生徒本人と相談し、**時数が多い授業**から選択します。

・サポートルームの利用時は、**出席扱い**になります。



⇒ただし、その時間のノートやプリントは**生徒が自分で受け取りに行く**必要があります。

☆サポートルームの教員が、フォローや声掛けを行います！

○在籍学級との連携

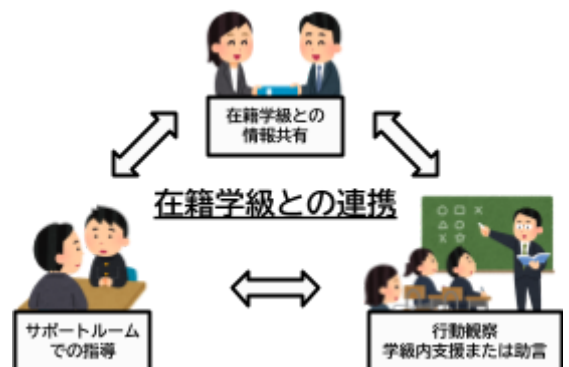
サポートルームでは、週1～2時間の自立活動だけではなく・・・

⇒**行動観察**による学級内でのつまずきの把握

⇒在籍学級の授業の**学級内支援または助言**

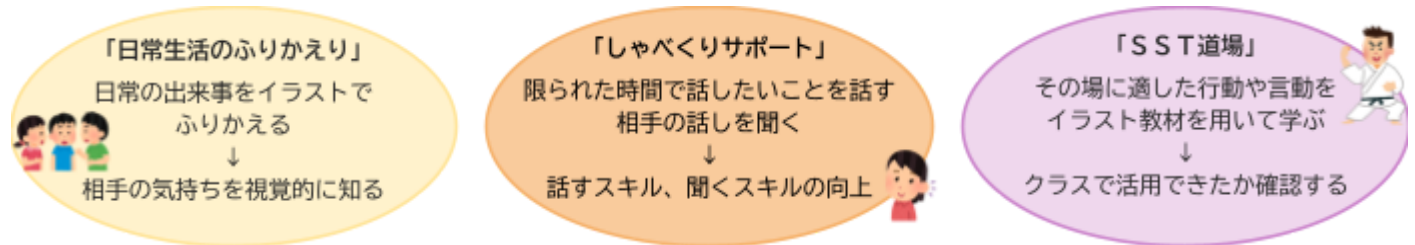
⇒担任や教科担任との**情報共有**による**連携**

を行っています。



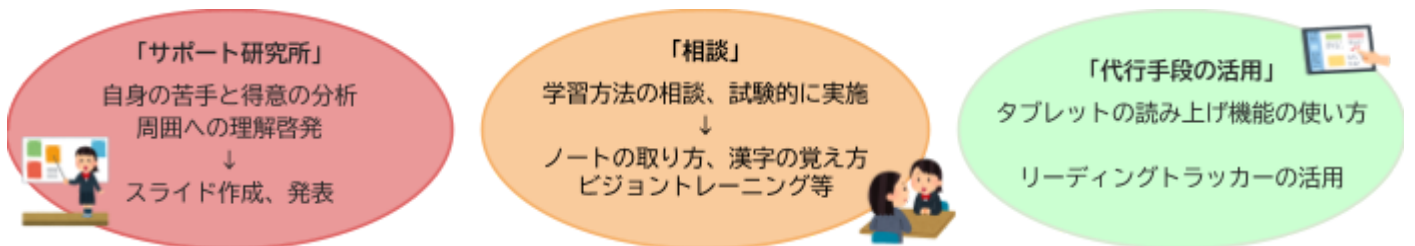
○生徒Aさんの場合

- ・相手の話を聞かず、自身の話を一方的に話す。
- ・その場に適さない発言を衝動的にしてしまう。
- ・一度学んだコミュニケーションスキルを日常生活で活用しようとする。
- ・落ち着いて考えると相手の気持ちを丁寧に考えることができる。



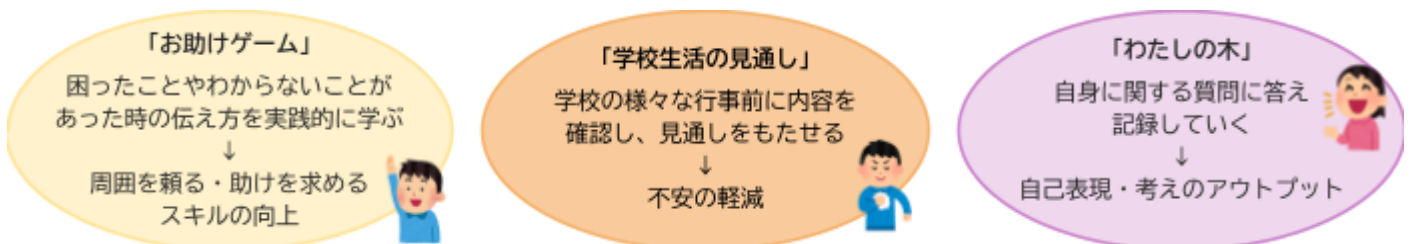
○生徒Bさんの場合

- ・覚えることや、学習したことを記憶し続けることが苦手である。
- ・漢字の形や読みを覚えることに苦戦している。
- ・「勉強を頑張りたい」という気持ちが強くある。
- ・授業中や定期テストでの配慮を希望している。



○生徒Cさんの場合

- ・見通しがもてないことに不安を感じる。
- ・自己表現することが苦手だが、心に秘めてる思いはある。
- ・困ったことが起こったときに周囲を頼ることができない。
- ・信頼できる友だちがいる。



○教材紹介

「勇者のカード」

自身の状態を客観的に振り返り、行動の修正点を考えさせる教材。

自分の状態を視覚的に認識できるよう工夫しています。「自分のHPを回復するには何が必要か」をゲームのように行動の修正点を考えさせるようにしています。

「やらなければいけないこと」=モンスター、「自分」=勇者、として課題に立ち向かい続けるよう保護者と連携して声掛けをしています。

勇者のカード

年 組 氏名 _____

現在のHP 100 /100

状態異常	ダメージ	アイテム	回復	装備	強化
寝不足	5	タイムアウト	5	計画力	5
朝食食べない	5	早寝早起き	5	実行力	5
ゲームのしすぎ	5	バランスのよい食事	5	時間管理能力	5
アニメ見過ぎ	5	ダイヤモンド	5	優先順位をたてる力	5
遅寝見過ぎ	5	計画家	5	修正力	5
youtube見過ぎ	5	自分にあった文房具	5	検索、調べ、整理する力	5
読書	5	紙を折まし	5	整理整頓する力	5
掃除	5	自分にあった勉強機	5	忘れない力	5
ダンス	5	チャットシート	5	コントロールする力	5
ゲーム合計	-0			集める力	5
		回復合計	+0		
				強化合計	-0

「こころ日記」

日付・天気・今の気分を表す色・直近の出来事や考えたこと等を書き、その内容について教員に説明していく教材。

日付や天気を参考にしながら、自分の気持ちの変化するきっかけを把握することができ、どんなときに気持ちが上げ下げするのか振り返る材料となります。



「ボッチャ」

小グループで行い、コミュニケーション方法を学んだり、自分ができていることで集団参加する方法を見つけたりする活動。

スポーツを通して、自然な会話からコミュニケーションを学べたり、それぞれに役割を与え、それを果たすことで達成感を味わえるように工夫しています。



各学校の教室紹介

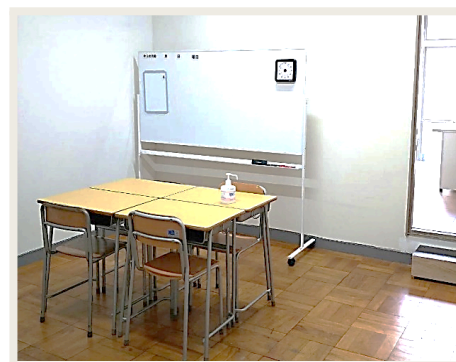
○教室紹介



清瀬中学校



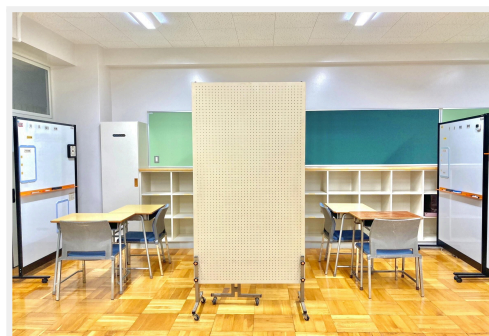
清瀬第二中学校



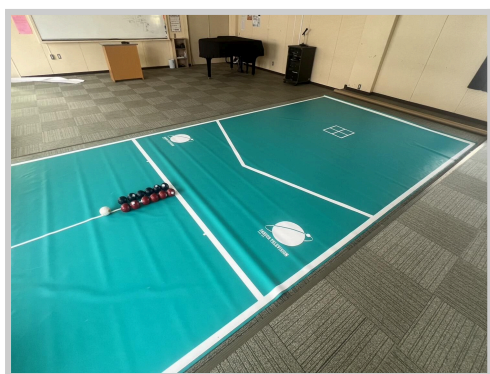
清瀬第三中学校



清瀬第四中学校



清瀬第五中学校



指導内容によっては、教室を広く使う場合もあります。

○指導形態



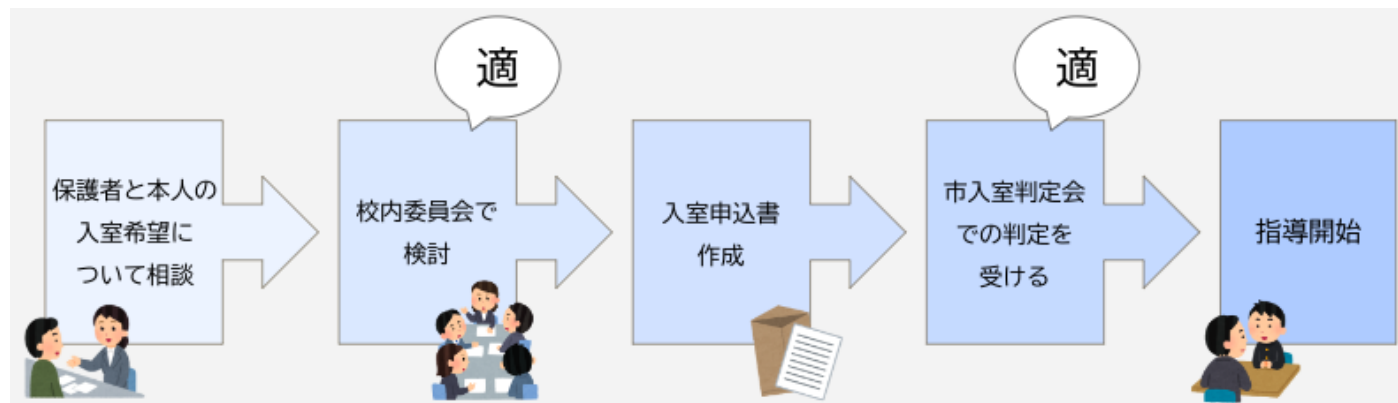
個別指導



小集団指導

入室にあたって

○入室の流れ



○必要書類

- ① 入室申込書
- ② 学校生活支援シート（一部）
- ③ 発達検査（WISC-IVまたはV等）の結果（3年以内のもの）

発達検査（WISC-IVまたはV等）が取れる場所
 ・子どもの発達支援・交流センター とことこ
 ・多摩北部医療センター
 ・教育相談室

※※①②の書類は学級担任からお渡しします

Q&A

Q：現在の通室人数は何人ですか？

A：

	一年生	二年生	三年生	合計
清瀬中学校	7	1	4	12
清瀬第二中学校	7	11	4	22
清瀬第三中学校	2	7	3	12
清瀬第四中学校	2	4	2	8
清瀬第五中学校	3	8	3	14

Q：学校ごとに巡回日が異なるのはなぜですか？

A：年度初めの各校の通室人数に応じて巡回日を設定しています。

Q：特別支援教室専門員は何をする人ですか？

A：巡回していない日の生徒観察、時間割や連絡、教材作成などの事務作業を主にしています。

各校連絡先

ご不明点やご質問等がありましたら、進学予定の中学校のサポートルームまでご連絡お願い致します。

清瀬中学校 … 042-493-6311

清瀬第四中学校 … 042-493-6314

清瀬第二中学校 … 042-493-6312

清瀬第五中学校 … 042-492-6315

清瀬第三中学校 … 042-493-6313

